



# ROTARY CLUB OF FUJIMI

## 富士見ロータリークラブ週報

第2251回例会 令和 5年10月 6日(金)

【卓話 羽石貴裕会員】

2023-10-20発行

2023~2024年度



国際ロータリー会長ゴードン R. マッキナリー  
「世界に希望を生み出そう」

【会長】森田仁一

【副会長】栗原 平

【幹事】萩原喜八郎

【SAA】涌井英樹

第2570地区ガバナー高丹秀篤  
「希望を語ろう」

【点鐘】会長 森田仁一会員

【斉唱】国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

【唱和】ターゲット 横田昌則会員

四つのテスト CD

【ゲスト】米山記念奨学生 チャンさん

青少年交換留学生 エバアさん

【会長の時間】会長 森田仁一会員

皆さんこんにちは、10月に入りすっかり秋めいて来ました、今年も早いもので残すところあと3ヶ月になりました、秋本番を迎える10月は、気候もさわやかで美しい自然の変化が堪能できる月です、秋の行楽シーズンですので、コロナ禍で出れなかったぶん今年には色々な場所に掛かってみてはどうでしょうか？カレンダーには1月・2月...という数字のほか、睦月・如月...という旧暦の和風月名が記載されているものも多いですが、10月は「神無月」と言います、「神無月」の由来は全国の八百万(やおよろず)の神様が、一部の留守神様を残して出雲大社(島根県出雲市)へ会議に出かけてしまうと考えられてきました。その為、神様が出かけてしまう国では神様がいないので「神無月」、反対に出雲の国(島根県)では神様がたくさんいらっしゃるで「神在月」と言われています。「神無月」も「神在月」も、神々が集う大切な月という意味です。年に一度、出雲大社に集まった神様たちは、人の運命や縁(誰と誰を結婚させようか)などを話し合います。遠く離れた者同士が知り合い結婚するようなことがあります、この会議の結果なのかもしれませんね、その為、出雲大社は縁結びの総本山でもあります。また、その他来年の天候、農作物や酒の出来なども話し合われているそうです。また10月はさつまいもの収穫時期でもあり昔は江戸・日本橋から十三里離れた川越のさつまいもが美味しいことから、さつまいもには「十三里(じゅうさんり)」という異名があります、



このことから1987年に川越市の「川越いも友の会」が、旬にあたる10月13日を「さつまいもの日」と決めました、また皆さんも耳にしたことがあるかと思いますが、「栗よりうまい十三里」という言い回しもある様です。

さて10月はRIロータリー月間テーマとして、「経済と地域社会の発展月間」となっていますが、日本独自に10月は「米山月間」となっています、ちょうど米山奨学生のチャンさんが来ていますので米山月間について少し話させて頂きます、10月の米山月間には、ガバナーの方針のもと各地区米山奨学委員会や各クラブにおいてさまざまな方法で推進がされています。事業理解の促進に最も効果的なプログラムはなんと言っても米山奨学生の卓話です、米山奨学金は、日本のロータリアンからの寄付金だけを財源としています、つまりロータリアンとは米山奨学制度にとっての唯一かつ最大の支援者です、ロータリアン達が寄付金を出さなければ米山奨学金はなくなる運命にあります、なので卓話とは、このような大事な存在であるロータリアンたちに、皆さんの人間の素晴らしさを見てもらい、米山奨学事業とは大切な事業であると理解してもらい、米山奨学金として寄付を行う行為を有意義なものとして認識してもらおう大事な機会という事です、ロータリー米山記念奨学会、元々は世界の平和を願って始まった国際奨学事業で、1952年東京ロータリークラブの当時の会長、古澤文作氏によってつくられた、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります、米山とは、「日本のロータリーの父」と呼ばれた米山梅吉氏(1868~1946)の事です、タイから初めて奨学生を迎えた1954年以降は、海外から招き入れるのではなく、在日留学生への支援に方針を変え、東京RCの単独事業から全国の地区に拡大・発展しました、最大の特徴は、ご存じの通り「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の一人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活では得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの心を学びます、会員にとっても多様な文化や価値観への理解を広げる良い機会になっていますでは本日は羽石貴裕会員の卓話となっておりますので、宜しくお願いします。また例会後、第7回理事会がありますので理事の方はお集まりください、本日の会長挨拶は以上となります、有難うございました。

米山奨学生チャンさんが第31回外国人スピーチコンテストにて最優秀賞を獲得！9月10日(日)に熊谷市立文化センター文化会館で開催された「第31回 外国人による日本語スピーチコンテスト」でロー ティ クイン チャンさん(サービス経営学部3年:ベトナム出身)が、最優秀賞(熊谷市国際交流協会会長賞)を受賞しました。このスピーチコンテストは、8つの国と地域(オーストラリア・中国・インドネシア・インド・ミャンマー・ネパール・台湾・ベトナム)から18名の出場者によって行われ、それぞれ日本語で自分の思いを発表しました。チャンさんは、「ニゲル」というテーマで、目標を達成するためには、時には泣くことも逃げることもあるかもしれないが、諦めずに立ち上がり進むことの大切さを自らの体験をもとに発表しました。当日、会場に300人の観客が詰めかけ中、チャンさんは動じることなく表現豊かに素晴らしい発表をされたようです。コンテストの様子は後日、熊谷市国際交流協会のYouTubeで配信される予定です。また、11月19日(日)アルカーサル迎賓館川越にて、「第3回米山記念奨学生スピーチコンテスト」が開催されますので、また最優秀賞を目指して頑張ってください。

【幹事報告】幹事 萩原喜八郎会員

- 1) 例会変更の件  
朝霞RC⇒10月29日(火)60周年記念例会 開会13:00  
メトロポリタン 3F 富士の間  
10月31日(火)定款による例会取止め
- 2) 次の書類を回覧します。
  1. 10月のレート=1ドル149円
  2. ガバナー月信 10月号
  3. End Polio Now リソースの御案内
  4. 東京臨海RCから30周年記念例会並びに  
祝賀懇親会臨席のお礼状
  5. 市民ゴルフ協賛のお礼状
  6. 令和5年東入間防犯・暴力排除推進大会の  
開催について

【贈呈】会長 森田仁一会員

チャンさんに10月分の エバアさんにおこずかいを  
助成金をお渡し致します。 差し上げます。



【委員長報告】

○米山記念奨学会⇒委員幸 桑原福治会員

10月は米山月間です。森田・萩原年度の米山記念奨学会への特別寄付についてご報告します。

1. 尾崎 功 会員 3回目マルチプル
2. 斉藤 重治 会員 10回目メジャードナー
3. 萩原 喜八郎 会員 2回目マルチプル
4. 桑原 福治 会員 3回目マルチプル 現在4名の方のご寄付が決まっています。特別寄付10万円のご希望がありましたら、会長もしくは米山委員長までご報告をいただきたいと思います。

○親睦委員会⇒委員長 西崎哲章会員

1. 10月会員誕生祝 松本伸、斉藤重、桑原、羽石貴会員  
夫人誕生祝 羽石貴、横田、日鼻、野崎会員  
結婚祝 西崎、星野、山城、奥田、松本伸会員  
横田、桑原、押田、森田、長根会員
2. 10月12日(木)東松山むさしのゴルフよろしくお願ひ致します。
3. 11月 9日(木)新入会員歓迎ゴルフコンペ&夜間例会。18時点鐘ひで蔵
4. 11月16日(木)劇団四季はキャンセルが利きませんので宜しくお願い致します。



【出席報告】委員 秋元昌希会員

10月 6日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	27名	8名	
出席数	19名	6名	71.4%

【ニコニコBOX】委員 秋元昌希会員

栗原 平会員

今月は17日、誕生日です。又、1年間無事に過ごせました山城 盛会員

50周年(金婚祝)迎えることができました。

斉藤重治会員

お陰様で米寿の年に成り入会44年になります。健康に感謝しています。これからもよろしくお願い致します。

坂本元彦、竹内英明会員

エバアさん、チャンさんようこそ。

羽石貴裕会員

本日の卓話宜しく。

斉藤重、柳田、山城、奥田、秋元、加治、桑原、齋藤英会員  
萩原、深谷、星野、森田、横田、涌井会員

羽石貴裕会員、卓話宜しくお願ひ致します。

羽石貴裕、奥田功次会員

前回欠席しました。

羽石貴裕会員

誕生月にて。

野崎秀一、羽石貴裕会員  
家内の誕生祝を有難う。

奥田功次、桑原福治

西崎哲章、羽石貴裕会員

結婚祝い有難う。

奥田功次、羽石貴裕会員

前回欠席につき。



合計 ¥58,000

## 【卓 話】 羽石貴裕会員



この度、令和 5 年 7 月 7 日富士見ロータリークラブの会員として入会をさせて頂きました羽石貴裕と申します。父 羽石隆 ならびに 母 羽石裕子にご縁のある皆さまと日頃から生業を通しご指導を頂いております多くの方々のお導きもありこのような機会を頂きましたことありがとうございます。改めまして、自己紹介をさせていただきます。

羽石 貴裕 (はねいし たかひろ)1972 年 10 月東京に生まれ埼玉 県富士見市で育ちました。現在は、羽石電気工業株式会社とNPO法人彩の国自然学校C’ Sを生業としてワークをしています。国家資格と民間資格を併せ50以上を保有しています。

1男2女(双子)の パパです。といっても、子どもは令和元年と令和 3 年に成人しており長男は埼玉県教職員で隣の小学校に勤務し、長女は東京国際大学 4 年生で現在スウェーデンに留学中、次女は文京学院大学 4 年生で幼稚園・保育士・児童福祉司任用予定で学んでおります。また、長男と次女は埼玉県のNACK5高校生海外スポーツ研修プログラム(毎年 8 名選抜)に参加しスポーツを通して国際交流を経験し前知事・現知事に表敬訪問をしました。少年時代を少し振り返り紹介を致します。

きたはら幼稚園を卒園し富士見市立勝瀬小・中学校を卒業し埼玉県立朝霞高等学校へと進学をしました。野球やサッカーなど多くの遊びもスポーツも経験したたくさんの友達と出逢いいじめにも遭い辛い経験もありましたが校外の友達が多かったことから成長とともに乗り越えていきました。低学年の頃は水彩画と油絵を習い事として学び、現在は廃業されましたが大井スイミングスクールに低学年から中学生 1 年生まで通い選手コースを選ぶか中学の部活を選ぶか葛藤したことを鮮明に覚えております。特に印象にあることは、中学校にはプールが無く隣接の市民プール(ガーデンビーチ)があり体育の授業では水着に着替え 3000m を走ってから水泳の授業でしたので、完走できた生徒は比較的水泳授業をまともに受けることができましたが完走できなかった生徒は入水さえ許されず何故かプールサイドでの正座で待機や校庭の清掃などを命じられる授業でした。古き良き時代の良い経験でもあり「学びの権利」を奪われた時間でもありました。学力の高くない私は、中学3年次は自分が行きたい学校のほか将来に向き合うことについていくつかの選択肢があり自営業における家業の継承

を期待される当事者にしかわからない悩みや葛藤を抱えて普通科の高校を選択し3年間過ごす中で妻とも出逢いました。私は、大学に行っておりません。1 年間予備校に通ってはいたもののバイトや遊びに明け暮れ受験勉強は予備校にいる時間だけの短期集中で入学を許可されるほど社会が甘くないことを学ぶ機会となりましたが、このことがとても不利益でもあり自分にとっての転機でもありました受験浪人 2 年目を迎えるのか専門学校を選択するのか葛藤はありましたが電気工学の専門学校を選択し渋谷に通うこととなり、当時はバブル景気真ただ中でもあり私の社会力が数段に成長する機会となりました。

就職先は、ゼネコンから専門的分野を担う設備工事業者 subcontractor(サブコントラクター)ですが、防衛省(当時は防衛庁)工事が多く建設省庁OBをはじめ多様な社員が在籍する準大手の電気工業会社へ入社しました。設計・積算業務のほか施工管理の業務を担いました。当時から今も変わりませんが3Kやブラック企業の代名詞でもあり心身が疲弊する業務を多く経験しました。私が担当した積算業務では父の卒業した茨城県の山村にある中学校新築工事のほか、新築の電気設備工事では多摩美術大学の校舎 5 棟ほどを分離発注で建築は 鹿島・東急・大成建築JVと筆頭の電気JV元請親会社で現場施工管理担当として 2 年近く建設工事に携わりました。

私の同期が担当した工事では富士見市の市民福祉活動センター「ぱれっと」をはじめ、箱根ガラスの森や羽田や横田基地の管制塔工事など多岐にわたります。私は、施工管理の重圧やバブル景気の崩壊の波、通勤途中の地下鉄サリン事件や所属会社の取崩事件などもあり結婚を機に転職を考えます。大卒ではない私はそれなりに勉強し国家資格を多数取得して業界では引く手数多の経験値でした。転職雑誌を見ながら 1 社だけが目に留まり書類選考・試験・2 回の面接を経て中途採用でみなし公務員として再就職をしました。3000人近い応募から18人の一人として

内定し各省庁が立ち並ぶ霞ヶ関の本社の総裁室で入社辞令を受けました。当時は、旧国鉄のように全国展開の行政サービスであり高速道路の建設と維持管理に職務としての希望を持ち各地への転勤も憧れを感じて新人研修を経て勤務地へと赴く 気持ちでした。家族の心配もあったことから赴任先(神奈川県港北)の内示を受けたときは安堵し現住所から毎日車通勤を行うことになりました。

第三・横々・横新道路の総延長の電気設備系の管理と日比谷駐車場の施設管理を担当しました。当時の公団は移動辞令が2~3 か月毎にあり、歓送迎会もそれに合わせて職員が異動することから名前と顔や人間性を知ることなく人間関係の構築が難しい面もありましたが、これが国家公務員の全国異動する組織と実感しました。

遠方転勤も経験することとなり、個人調査票では札幌か沖縄に転勤希望をだして中間とって仙台か神戸を願っておりましたが名古屋支社勤務かつ飛騨高山担当となり単身赴任しました。

一宮にある单身寮にするか稲沢駅前の家族宿舎はすべて同社職員だけの200世帯近いマンションで幼稚園も同社員家族のみの転勤をするかを悩み、单身寮としましたが左右寮室は同じ部同じ課の両隣の同僚で、上司も同じ寮生活でバス通勤・電車通勤全て同じ時間で出退勤は窮屈なものでしたが週末の新幹線での帰宅は楽しかったです。

名古屋支社勤務時には民営化も本格化し勤務地が西日本限定となり退職を決意しました。30歳を迎え10年ほど社会人として経験を積み生業や生活などをさえざるを得ない転機となりましたが、いずれも私にとっては会社員としてもみなし公務員としても適職適任と思える天職だったと思います。

家業を継ぐことはできるだけ避けたかったが、これまでの業務経験はとても有用なものでした。家業の現状はふつうの電気工事屋さんでありバブル景気崩壊のまま不安定な時期が続き経営改革を必要としていました。課題の洗い出し業務内容の整理と顧客を変えることを少しずつはじめていき父と私で電気工事の分野そのものを分業し労働環境の改善など多くのハードルもある中で少しずつ解決して現在では公共工事90%の完成工事高となる小さな企業となりました。これまで、警察関係では特殊な(機密保持)防犯センサーの設置や埼玉スタジアムの照明設備、大宮双輪場や航空公園の電気設備、県内の国道や県道の道路照明灯の更新などの技術力の高い工事実績があります。地域貢献では、青少年育成埼玉県民会議に協賛し少年の主張大会への特別賞協賛 と大宮アルディージャを支援し子どもの夢のかけはしとなる企業を目指しています。

私のもう一つの生業についてお話致します。大きく 2 つに分かれます。1 つは、社会教育士として学校・家庭・地域連携と地域の社会力の向上を目指す事業を行っています。社会教育 はどうゆうものなのか。学校教育課程を除いて生まれてから生を失うまでの生涯にわたる学びや経験を深める 活動(例:子育てサロン・成人式・公民館や図書館運営など)や地域活動 ひともの・かね を組み合わせ課題 解決を目指す取り組み(まちづくり・コミュニティサロン・地域防災会)様々です。もう1つには、『自然体験活動憲章』に基づき自然学校をはじめとする自然体験・アウトドア・環境教育などの分野で活動している全国の団体で構成される国内唯一最大のネットワーク組織に入り自然体験活動指導者を養成するトレーナーと国立や県立の社会教育施設における青少年育成活動の主任講師などに取り組んでいます。

マルチなコーディネーターです。21歳の時にユニセフの貧困地域への経済支援続けて再転職後(事業継承に向けて)のすきま時間に心身を使ってボランティアをはじめたことで。一つははじめた青少年相談員と子どもの居場所づくり、国際交流などが繋がりに変わりました。

富士見市社会教育委員を6年埼玉県生涯学習審議会委員を2年経験文部科学省の社会教育主事講習を受講(任用資格)し埼玉県社会教育委員2年の行政委員を経験しました。なお社会教育主事講習は大学卒または社会教育行政の経験が無いと受講することができませんが、過去の行政委員経験と社会教育団体での実務経験により受講資格を認められ取得することができました。

40代最後に大東文化大学で社会教育士として学び直しを行いました。社会教育や自然体験に関わる資格や学びは30以上にもなりました。

私にできることは、NPO運営のほか子どもの居場所づくり、子どもの社会力を育てる青少年育成サポート、学校・家庭・地域連携のコーディネート、消防団活動に従事し、震災前の2010年より防災士となり防災減災の指導や 助言、水上安全救助員としても付与され海上特殊無線技士と潜水士・レスキューダイバーとなり体験活動のリスクマネジメントをしています。

現在は、NPO法人彩の国自然学校C’ S代表理事をはじめ埼玉県青少年育成アドバイザー会議の代表と青少年育成埼玉県民会議の監事を務めております。

ボランティアをいくつもしているのではなく、どれも繋がりのある活動や取り組みが結びつきネットワークとなり社会教育事業として営利でもあり非営利でもある社会貢献をテーマに取り組んでいます。

地域社会への奉仕と平和、親睦を深めるべくロータリークラブに参加させて頂きます。宜しくお願い致します。

## 【点鐘】会長 森田仁一会員

例会日	毎週金曜日
時 間	12:30~13:30
事務所	〒354-0022 富士見市山室2-10-10 島田ビル201号
電 話	049-251-6596 FAX049-252-3848
例会場	島田ビル1F
Eメール	fujimi-re@nifty.com

会報・IT委員会 週報担当:浅見隆広

委員長:浅見隆宏 副委員長:長根章浩

委員:西崎哲章 涌井英樹 秋元昌希  
羽石貴裕 加治秀之